

令和元年度農業後継者特別支援事業

事業主体名 鹿児島県立山川高等学校

1 目的

指宿市はマメ類野菜の産地であり、本校においてもマメ類の栽培やPR活動に力を入れている。本事業の助成で、品種育成などを手がけている農業開発総合センター等の視察研修、販売会場でのマメ類のPR、商品開発に関わるワークショップ等を実施して、商品開発の基礎学習を進めながら、マメ類のPR活動を通して、生徒の活動意欲、知識及び技術の向上を図る。

2 実施状況

(1) 視察研修の実施

実エンドウ「まめこぞう」の育成地でもある鹿児島県農業開発総合センターでソラマメや実エンドウの育成方法や栽培方法について学習した。

本校においても各種のマメ類を栽培しており、授業の内容とも重なるところもあり、効果的に学ぶことができた。

また、育種については、研究員の長年の地道な努力によるものであることを認識することができた。



農業開発総合センター視察研修

(2) ワークショップの実施

一級フードコーディネーターの杉水流直子先生を招待し、マメ類の加工品等の種類、加工品の名前、ラベル及びキャッチコピーなど、どのようなものが注目を集めるのか講義を受けた。その後、ワークショップを行い、各班毎に商品のイメージを出し合った。

商品開発については、実エンドウスープやブランマンジェの試作品を作り、学校視察の方々やイベント会場で試食・試飲を行い、様々な意見をいただくことができた。

これらの活動を通して、販売店に並ぶ多くの商品を観察することも重要であることを理解できた。



商品開発のためのワークショップ

(3) 山川高校一日マメフェスタinたわわタウン谷山の実施

マメ博士育成プロジェクトの集大成として一日マメフェスタを実施した。

一般の方へ豆腐作りを教えたり、実エンドウのPR、実エンドウスープの試飲、アンケートの実施、マメ類を含む学校生産物を販売した。

生徒は2部門を担当し、マメ類の紹介や豆腐作りを指導することで日頃の学習効果を高めることができた。



マメフェスタ 豆腐作り教室

3 今後の課題、取り組み

本プロジェクトを今後も継続し、商品開発については、地元企業との連携を深めながら進めていきたい。

また、アグリスクールや出前授業も実施し、積極的にPRを進める。

さらに、短大や大学と連携し、農業女子プロジェクト、PRイベントの共同開催、食育活動の推進を深め、食を通しての人間形成につなげることも模索していきたい。



マメフェスタ PR活動